

研究機関名：旭川医科大学

作成年月日：2025年12月5日（第1版）

承認番号	24137
課題名	気管支鏡下ブラシ擦過による抗酸菌塗抹検査の有用性の検討
研究期間	西暦 2025 年 1 月 9 日（実施許可日） ～ 2026 年 3 月 31 日
研究の対象	2014 年 3 月 1 日～2024 年 3 月 12 日に当院で気管支鏡検査により抗酸菌検査を行った方
利用する試料・情報の種類	■診療情報（詳細：年齢、性別、抗酸菌検査結果、CT 所見等） <input type="checkbox"/> 手術、検査等で採取した組織（対象臓器等名： ） <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> その他（ ）
利用予定日	開始日：実施許可日から 1 ヶ月後
試料・情報の管理について責任を有する者	旭川医科大学 学長 西川 祐司
研究の意義、目的	気管支鏡検査は抗酸菌感染症の診断に用いられます。結核、非結核性抗酸菌症ともに患者が喀痰を喀出できない際には気管支肺胞洗浄液による診断が有用とされます。喀痰塗抹陰性の患者のうち 47～93.7%が気管支肺胞洗浄液にて抗酸菌培養が陽性となったと報告されております。しかし、気管支肺胞洗浄液の有用性に関する報告がある一方で、気管支鏡下のブラシ採取による抗酸菌感染症の検査に関する報告はわずかです。本研究は、気管支鏡下でのブラシ擦過の抗酸菌検査の有効性を評価することを目的としております。
研究の方法	気管支鏡下でのブラシ擦過の抗酸菌検査の有効性を評価することを目的とします。気管支肺胞洗浄液とブラシ検体の両方で抗酸菌検査がされている群と気管支肺胞洗浄液のみで抗酸菌検査をされている群とに分けて抗酸菌塗抹の陽性率を比較検討します。
その他	
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

旭川医科大学病院

感染制御部 梅影泰寛

電話番号 0166-69-3211

研究責任者：旭川医科大学病院 感染制御部・梅影泰寛